

# ディディスリング リングスリング

いつから

新生児～

シンプル  
装着で  
手早く抱っこ

## 赤ちゃんの成長にあわせて ずっと使える リングスリング

手早く装着できるリングスリングは、お出かけ、車移動の多い生活など頻繁に抱きおろしを繰り返すシーンに便利です。

まずは、大人の背中に布が大きく広がるシンプルな「基本の使い方」と、小柄な方や新生児の抱っこにおすすめの「背中で布を折り返す使い方」の2つから、お好みの準備方法をお選びください。

どちらの準備方法も、大人の身体とぴったり密着する正面抱っこから視野の広がる腰抱きまで、赤ちゃんの発達やニーズに合わせて抱く位置を自由自在に変えることができます。スリングで抱いたまま赤ちゃんを少し下げると、授乳もできます。



## スリングの準備

シンプルな「基本の使い方」は、初めてスリングを使う方におすすめです。慣れてきたら、新生児や小柄な女性の身体にフィットしやすい「背中フリップ」の抱き心地も試して、ご自身の快適なスタイルをお選びください。

### 基本編



① 赤ちゃんを抱く腰と、反対の肩にリングを準備して、布を背中に斜めに広げます。



② リングは肩の高い位置に乗せます。



③ スリングを広げて、腰骨の近くで、下からじゃばら状に布を束ねます。



④ 布を束ねて持ちます。



⑤ 腰骨の辺りで束を固定して、テールをリングに向かって持ち上げます。



⑥ 2本のリングの下から布を通します。



⑦ リングを開きます。



⑧ 布束がリングの間を通るように折り返し、下のリングに通します。



⑨ リング部分の布の両側から親指を差し込み、



⑩ 両側からじゃばら状に集めます。



⑪ 布が折り重ならないように、リングに全体に広げます。レールが折れていないか確認をします。



⑫ リング上に布が均等に広がるように、両端から中央まで順にテールを引きます。

スリングの準備



⑬ リングの位置が下がっていたら、



⑭ 高い位置へ戻します。



⑮ 肩の布を広げます。



⑯ 布がねじれていないか確認します。

背中布の折り返し(フリップ)編



① 赤ちゃんを抱く腰と、反対の肩にリングを乗せて、布を背中に斜めに広げます。



② リングを持っていた手で、布の下側を持ちます。



③ 上の手を離して、布を下から持ち上げます。



④ 布が背中で折り返していることを確認します。



⑤ 腰骨の近くで、下からじゃばら状に布を束ねます。



⑥ 布を束ねて持ちます。



⑦ 腰骨の辺りで束を固定して、テールをリングに向かって持ち上げます。



⑧ 2本のリングの下から布を通します。

## スリングの準備



⑨ リングを開きます。



⑩ 布束がリングの間を通るように折り返し、下のリングに通します。



⑪ 布の端が折れていたら広げます。



⑫ リングの間の布の両側から親指を差し込み、両側からじゃばら状に集めます。



⑬ リング上に布が均等に広がるように、両端から中央まで順にテールを引きます。



⑭ リングの位置が下がっていたら、



⑮ 高い位置へ戻し、肩の上の布を広げます。



⑯ 布が背中ですり抜けしていることを確認します。

## 抱き入れ

布束に赤ちゃんを座らせ、姿勢を確認してから布を広げましょう。両膝がお尻よりも高く、左右対称のM字型開脚姿勢が取れていることを確認します。赤ちゃんの股関節の発育を促し、スリングの中で安定しやすい姿勢です。



① 赤ちゃんを高い位置に抱っこします。



② 布束の下から手を入れて、足を迎え入れます。



③ 脚を下へひっぱらないように気をつけてください。



④ 布が両膝の下を通り、お尻を支えるように座らせます。膝がお尻よりも高いM字の開脚姿勢。

抱き入れ



⑤ 左右の脚が同じ高さになっていることを確認します。



⑥ リング近くから、布を広げます。上縁を掴み、まずはお尻を包みます。



⑦ 布を掴む位置を変えながら、



⑧ 背中全体に布を広げます。

首すわり前の赤ちゃん



小さい赤ちゃんは、頭が隠れるくらいしっかり布を引き上げ、

お顔が見えるように首元まで下げておきます。



⑨ 背中側から下部分の布の緩みを集めてお尻の下へ送ります。赤ちゃんの膝下は自由に動かしているか、ふくらはぎが布に覆われていないか確認してください。



⑩ お尻の下に余った布で、赤ちゃんのお尻を包みます。



⑪ 赤ちゃんの下から手を入れて布をつかみ、



⑫ おへそに向かって、上へ引き上げます。赤ちゃんの膝から膝まで、お尻と太もも全体を包みます。



⑬ 赤ちゃんの脚がM字型をしていれば、引き締め準備が完成です。

## 引き締め

布の流れに沿って放射状に引き締めれば、布の滑りが良くスムーズです。端から順番に数回に分けて引き締めると赤ちゃんの身体に布がジャストフィットして快適さと安定感がアップします。



① 緩みをリングへ集めていきます。



② 布の流れに沿って放射状に引くと、スムーズに引き締まります。首の辺り（写真でピンク色の縁）は強く引きすぎないように気をつけましょう。



③ 布を上端から5等分するイメージで、順番に一筋ずつ引き締めます。赤ちゃんの肩と肩の間（写真でダークグレーの部分）をしっかり引き締めることで首すわり前の赤ちゃんが安定します。



④ 赤ちゃんの背中やお尻部分のシワや緩みがなくなるように、順番に引き締めます。

### ワンポイントアドバイス



#### ボトムレールの引き締め

シート部分の布を引きすぎると、赤ちゃんの片脚が傾き、シートが外れやすくなります。下部分の布を引く時は、赤ちゃんの姿勢をよく確認しましょう。



⑤ 背中 of 布を広げると、より体重分散できます。



⑥ 完成です。

## 確認・アレンジ

必ず安全で快適な抱っこができていないか確認しましょう。簡単にできる、新生児やお昼寝におすすめの首枕アレンジもシーンに合わせてお使いください。



① シートは赤ちゃんの両膝裏からお尻を包み、膝裏を圧迫していないことを確認します。



② 次に密着感の確認です。赤ちゃんを支えながら、軽お辞儀をしても安定しているか確認します。



③ 赤ちゃんの首枕をつくるアレンジです。首すわり前やお昼寝におすすめです。ガーゼハンカチなどを2~3cmの棒状に丸めます。



④ トップレールを引き上げて、丸めたガーゼハンカチを巻き込みます。厚みのあるハンドタオルは、適当な太さまで丸めて使用します。

## 確認・アレンジ



⑤ 完成です。



⑥ テールを使う方法もあります。



⑦ テールの上部を適切な太さに丸め、巻き込みます。



⑧ 完成です。

## 下ろし方

ワンステップで簡単に赤ちゃんを下ろすことができます。  
赤ちゃんを支えて、安全にスリングを外しましょう。



① 片手で赤ちゃんのお尻を支えて抱きます。



布がかかっていないリングを、持ち上げます。持ち上げる、戻す、を繰り返すとスリングが緩みます。



② 赤ちゃんを片手で抱っこしながら、



③ 下からシートを外します。



④ 赤ちゃんの顔に布がかからないように、外します。



⑥ スリングを大人の身体に装着しておけば、繰り返し赤ちゃんを抱き入れたり下ろしたりできます。